

取扱説明書

形名

イー エム エス ビー エイ
EM-SB1A



HEALSIO

ヘルシオ 真空ブレンダー

はじめに	この製品でできること	2
	初めてお使いの前に	3
	安全上のご注意	4
	各部のなまえ	6
	操作部	8
	組み立てかた	10
	ご使用の前に	
	禁止食材について	12
	下ごしらえについて	12
	食材の入れかた	12
分量について	13	
ご注意	13	

使いかた	真空ブレンド(自動)	14
	ブレンド(低速・高速・フラッシュ)...	17
	ドリンクボトルで真空保存(真空)	18
	保存容器で真空保存(真空)	22

必要なときに	お手入れ	24
	故障かな?	28
	モーターの保護装置について	29
	仕様	29
	保証とアフターサービス	30
	お客様ご相談窓口のご案内保	31

裏表紙

ご購入あげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
 - この取扱説明書(保証書付)は、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。
- ※業務用として、使用しないでください。

HEALSIO HEALSIO
ヘルシオ 真空ブレンダー

ヘルシオロゴ 及び ヘルシオ、HEALSIO、ヘルシオ真空ブレンダー、
及びヘルシオ真空ブレンダーロゴはシャープ株式会社の商標です。

製品登録の
お願い



COCORO MEMBERS

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、
シャープの会員サービス「COCORO MEMBERS」でご愛用
製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

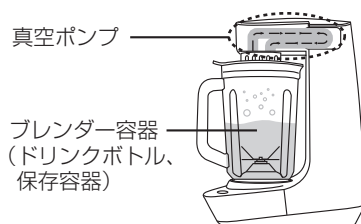
<https://cocoromembers.jp.sharp>

スマートフォンは
こちらから



この製品でできること

この製品は本体に真空ポンプを内蔵しており、ブレンダー容器やドリンクボトル、保存容器内の空気を抜き、真空状態にすることができます。



イメージ図

- 真空とは、大気圧より低い圧力の状態のことを意味します。

真空ブレンド機能 (14~16 ページ)

食材をかくはんする前に空気を抜くことで、食材の酸化を抑えて新鮮さを維持することができます。通常のブレンダーでは、食材のかくはん時に空気が多く混入するため、スムージーなどの飲み物が酸化しやすくなります。



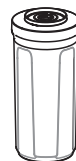
ブレンダー容器を使います。

ブレンド機能 (17 ページ)

通常のブレンダー機能です。食材をかくはんしたいときや、自動で調理した後に、もう少ししかくはんしたいときなどにお使いいただけます。

真空機能 (18~23 ページ)

真空ブレンド機能で作った飲み物を、再度真空にすることで、鮮度の劣化をおさえて保存することができます。付属の保存容器を使うと、食材にも使えます。



ドリンクボトルを使います。



保存容器を使います。

イラストは、実際の形状と若干異なることがあります。

初めてお使いの前に

- 1 安全上のご注意、ご使用前のご注意をお読みください **4~5 ページ**
12~13 ページ
- 2 各部品と付属品を確認してください **6, 7 ページ**
- 3 本体以外の部品を洗ってください **24~27 ページ**

使いかたイメージ

■ スムージーなどの飲み物を作る

- 1 食材をブレンダー容器に入れ、フタをして、本体にセットします。
 - 2 電源プラグを差し込みます。
 - 3 電源ボタンを押して、自動ボタンを押します。
- 

■ 食材を保存する

- 1 食材(調理物)を保存容器に入れて、フタをします。
 - 2 保存容器スタンドを本体にセットして、保存容器をのせます。
 - 3 電源プラグを差し込みます。
 - 4 電源ボタンを押して、真空ボタンを押します。
- 

※真空ブレンドで作ったスムージーなどを保存する場合は、ドリンクボトルを使います。

安全上のご注意

○の数字は、主な説明のあるページを示しています。

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたで生じる内容を、
次のように区分して説明しています。

 **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。

 **注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を受ける
おそれがある」内容。

■お守りいただく内容の種類を
次の図記号で説明しています。

 してはいけないこと。

 しなければならないこと。

警告 感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐために

電源プラグやコードは、乱暴に扱わない

-  ● ゆるんだコンセントは使わない
- 傷んだ電源プラグやコードは使わない
- 傷付けたり、変形させない
- 収納時にコードを本体に巻き付けない
無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重い物をのせる・挟み込む・加工する・高温部に近付けるなどをしない。
(火災・感電・ショートの原因)
- 定格電圧(交流100V)以外で使わない

電源コードが破損した場合は、危険を避けるため、販売店へ点検・修理を依頼してください。

-  ● 電源プラグは根元まで、確実に差し込む
(発火の原因)
- 定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布で拭き取る
(ほこりがたまると、火災の原因)

-  ● めれた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作部 (8 ページ) を触らない
(感電・故障の原因)

-  ● 自分で絶対に分解・修理・改造をしない (感電・火災・けがの原因)
修理は、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。 (31 ページ)

子供や取り扱いに不慣れな方、補助を必要とする方だけで使わない

-  ● 乳幼児の手の届く所で使用しない
(感電やけがなどのおそれ)
本製品で遊ばないように注意する。

-  ● 本体を水につけたり、水をかけたりしない
(感電・ショート・故障の原因)

-  ● ブレンダー容器の中にスプーンやはしなど調理材料以外を入れて運転しない
(故障・けがの原因)

異常・故障時には、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

-  ● すぐに 販売店へ点検・修理を依頼する
(発煙・発火・感電・けがのおそれ)
- 電源プラグやコード、本体が異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。
- ブレンダー容器などの部品にひびや破損箇所がある。
- その他の異常や故障がある。



注意 けがを防ぎ、家財などを守るために



- カッターは鋭利なため、直接手を触れない (けがの原因)
カッター台やパッキンの取り付け・取りはずし時、お手入れ時は、特にご注意ください。



- 安全スイッチ (2か所) (6 ページ) を細い棒などで 押さない (故障・けがの原因)

安全な場所で使用する



- 丈夫で安定した水平な場所に置く (騒音や振動、ガタ付きの原因)



- 不安定な場所で使わない
- 布・ビニール・紙・おぼんなどの上で使わない (落下によるけがや製品の破損の原因)
- 水のかかるところや火気の近くで使わない (変色・変形・感電・火災の原因)
- 油などが付着した、すべりやすい場所で使わない

電源プラグは正しく扱う



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない (断線やスパークして、発火の原因)



- 電源プラグを抜き差しするときは、必ず運転が停止していることを確認してからおこなう (けがの原因)



プラグを抜く

- 部品の取り付け・取りはずし・お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう (感電・けがの原因)
- 使用時以外は、電源プラグを抜く (絶縁劣化などで感電や漏電・火災の原因)

次のような使いかたをしない



- 40℃以上の熱い食材を入れない (吹きこぼれによるやけどや回転軸の破損の原因)
- カラ(食材なし)の状態での運転をしない (破損の原因)
- 運転中に解除ボタン (6 ページ) を押したり、移動させたりしない (けが・破損の原因)
- 直射日光が当たる場所で使用、保管しない (製品の変色の原因)
- 容器類を、電子レンジやオーブンに入れない (破損の原因)
- 調理以外の目的に使用しない (破損・故障の原因)
- 他の製品の部品を取り付けて使用しない (けが・故障の原因)
- 定格時間を超えて運転しない
連続して使用する場合は、休止時間をお守りください。 (故障の原因)
- 運転中は本体から離れない
- 真空ヘッド (6 ページ) を上げたり下げたりするときは、勢いよく動かして衝撃を与えない。
- 最大量を超える量の食材を入れない (故障の原因)
ブレンダー容器： (13 ページ)
ドリンクボトル： (18 ページ)
保存容器： (22 ページ)



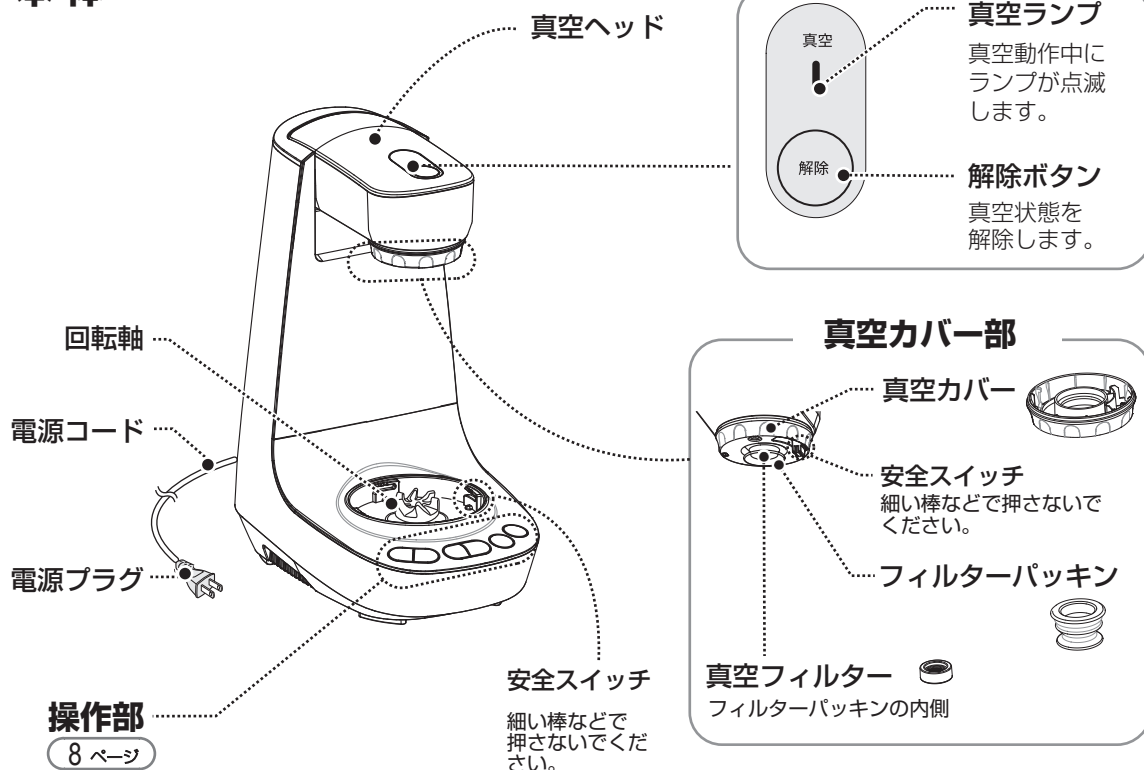
- 真空ヘッド (6 ページ) を確実に上げた状態で容器の着脱をおこなう
- 移動させるときは、電源プラグを抜き、本体を持つ (落下によるけがや製品の破損の原因)
- 保存容器を持ち運ぶときは、真空状態でも、容器ごと持つ (フタだけを持つと、落下してけがや破損の原因)

各部のなまえ

ご使用の前に、本体以外の部品を洗ってください (24～27 ページ)

工場出荷時に、パッキン類は取り付けられています。

本体



付属品

● カッター台取りはずし金具

ブレンダー容器にカッター台を取り付けたり、取りはずすときに使います。



● 取扱説明書(保証書付)

● メニュー集

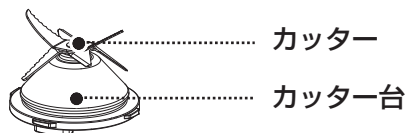
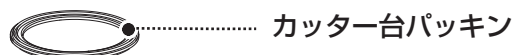
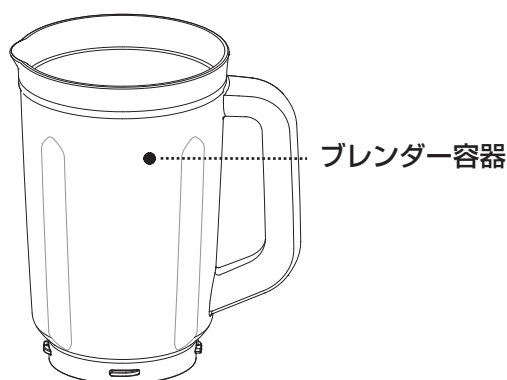
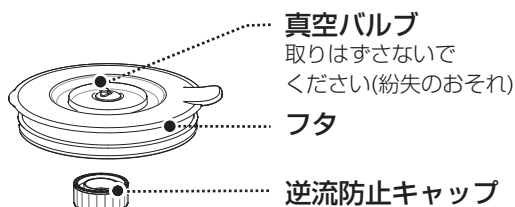
当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はありません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

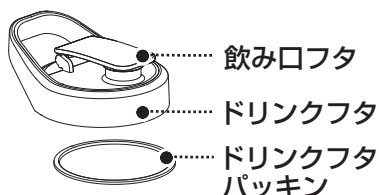
※ 本体・本体部品・付属品が、使用中に破損したり、紛失したときは、お買いあげの販売店へご依頼ください。(有料) (31 ページ)

ブレンダー容器部

フタ部

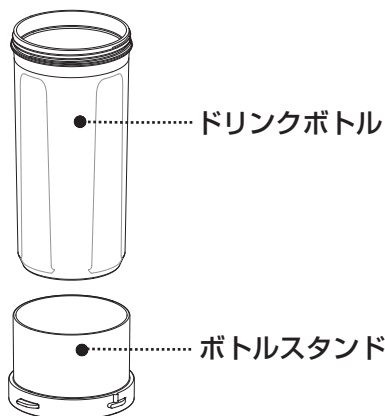
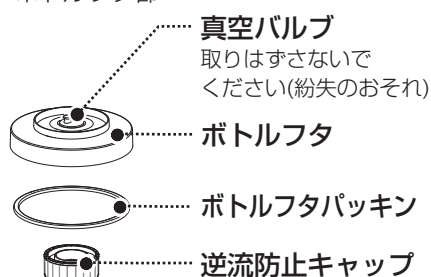


ドリンクフタ部



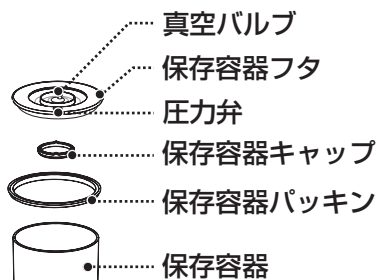
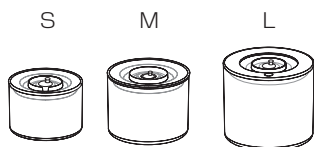
ドリンクボトル部

ボトルフタ部



保存容器部

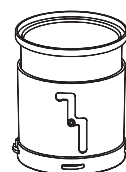
3サイズあります。



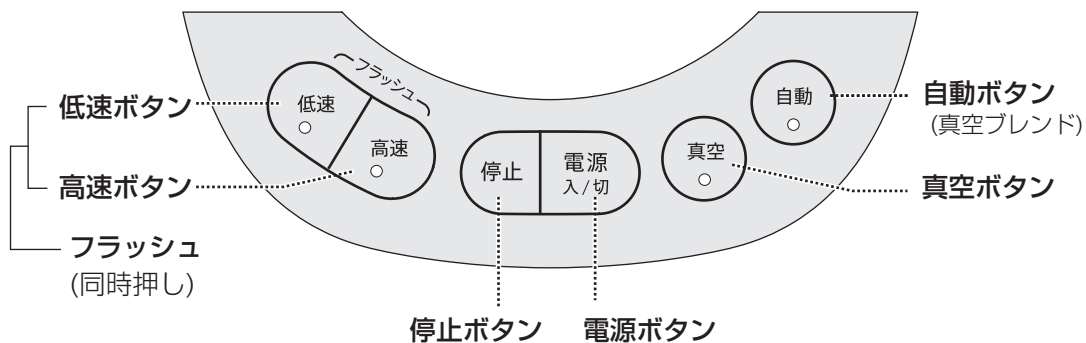
保存容器スタンド

使用する容器サイズに合わせて高さを調節します。

22ページ



操作部



真空ブレンド 自動ボタン	ブレンダー容器内を減圧して真空状態にしたあと、かくはんをおこない、自動で停止します。 (真空時間：最大1分、かくはん時間：2分) かくはんは、動作をコントロールしているため、途中で数秒停止することがあります。
真空ボタン	ブレンダー容器やドリンクボトル、保存容器内を減圧して真空状態にして、自動で停止します。(真空時間：最大1分)
電源ボタン	電源を入れたり、切ったりするときに押します。
停止ボタン	動作中の運転を中止したいときに、押します。
ブレンド 高速ボタン ----- 低速ボタン ----- フラッシュ	2分間かくはんします。 ----- 2つのボタンを同時に押すと、押している間だけ、かくはんします。押しているボタンを離すと、停止します。 押し続けた場合は、2分で停止します。

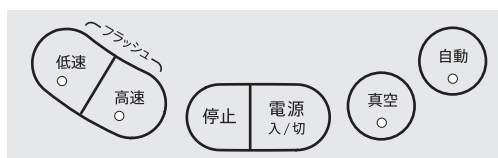
※真空時間について…真空状態になっていない場合でも、故障防止のため最大1分で停止します。

ご注意

- 操作部に、液体などをこぼさないようにしてください。
(故障の原因)

この製品は、動作終了音などのお知らせ音は鳴りません。
操作部のランプの点灯や点滅で、状態を確認してください。

受け付け状態



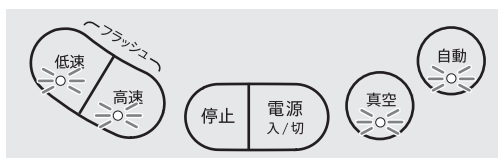
操作部のランプがすべて点灯

すべてのボタンを受け付けます。

調理が終了すると、この状態になります。

3分以上、何も操作をおこなわなかった場合は、
ランプが順番に点灯して、待機状態になります。

点滅しているときは、容器が正しくセットされていません。
正しくセットされているか、確認してください。



- ブレンダー容器（またはボトルスタンドや保存容器スタンド）をカチッと音がするまで回してセットしましたか？
- 真空ヘッドが上がっていませんか？
- 各部品が正しく組み立てられていますか？

運転中

例：自動ボタンを押したとき



自動ボタンのランプが点滅

押したボタンのランプのみが点滅し、
動作が終了すると、受け付け状態に戻ります。

待機状態



ランプが順番に点灯

電源ボタン以外の操作ボタンを1つ押すと、
受け付け状態に戻ります。
操作が終わるときは、**電源ボタン**を押して、
電源を切ります。

組み立てかた

ブレンダー容器部

1 ブレンダー容器にカッター台を取り付ける

- ①カッター台内側の溝に
カッター台パッキンをはめます。



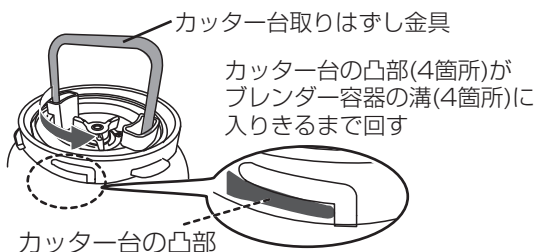
刃に触れないよう、
ご注意ください。
(けがの原因)

パッキンを傾け、カッターを
少しずつくぐらせます。
そのあとしっかりと
押し込んでください。



- ②ブレンダー容器を下に向けてカッター台を
取り付けます。

付属のカッター台取りはずし金具を使って、
反時計回りに回します。止まるまで回し、
確実に取り付けてください。



ご注意

- カッターが変形したり、欠けたりしていないかを確認してください。欠けたり、変形している場合は、使用しないでください。(故障やけがの原因)
- カッター台を取り付ける時は、必ずパッキンを取り付けてください。(水漏れ、部品の変形等の不具合が発生します)
- パッキンは、カッターで傷付けないようにしてください。
- カッター台は確実に取り付けてください。(取り付けが不十分だと、調理物の漏れの原因)

2 フタに逆流防止キャップを取り付ける

- ①逆流防止キャップを、
フタに取り付けます。



- ②フタをブレンダー容器に
取り付けます。



- ③フタが傾かないように
両端を押します。
すき間がないように、
しっかりと押し込みます。



逆流防止キャップの突起部を
下図の位置に合わせて、
反時計回りに回す。

突起部



カチッと音がするまで、回す。
(下記の位置に突起部がきている
のを確認してください)

カチッ



突起部

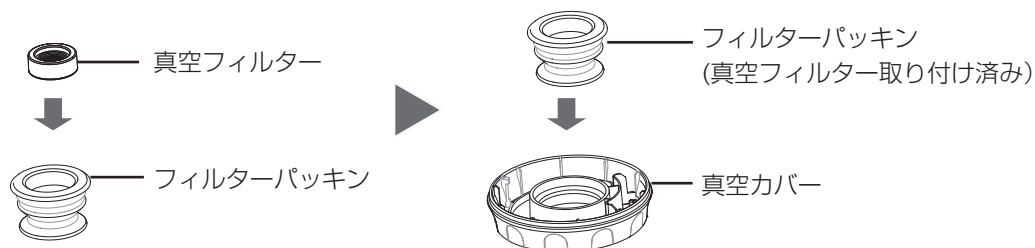
裏側から見たところ

真空カバー部

1 真空フィルター、フィルターパッキンを、真空カバーに取り付ける

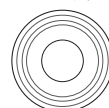
①真空フィルターの凹部を上にして、フィルターパッキンにはめる。

②真空フィルターを取り付けたフィルターパッキンを真空カバーに取り付けます。

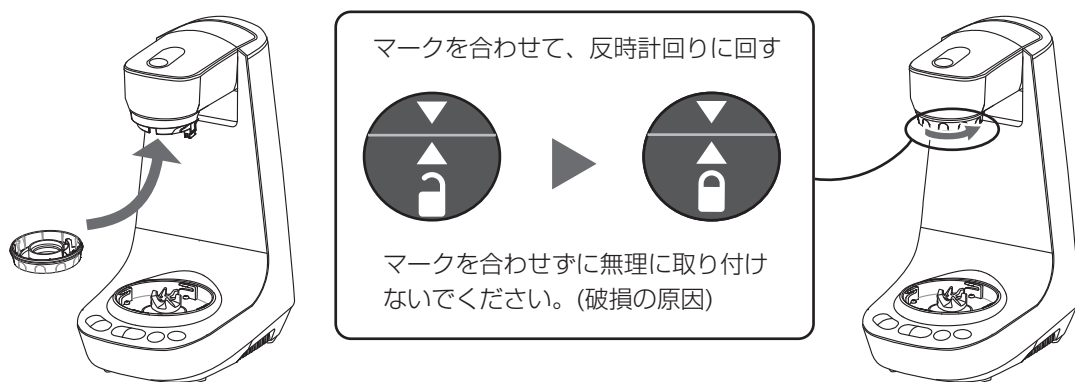


上からみた図

※フィルターパッキンには、向きがあります。
3本線がある面が上側（真空ヘッド側）になるように取り付けます。

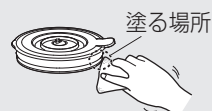


2 真空カバー部を本体に取り付ける



お知らせ

- 逆流防止キャップは、必ず取り付けてください。(取り付けずに運転すると故障の原因)
逆流防止キャップは、真空状態にするときや、かくはんするときに真空バルブからの調理物の逆流(漏れ)を抑える役割をします。
- パッキン類は、しっかりと押し込んで取り付けます。
取り付けたあとは、すき間がないかを確認してください。
- 真空性を高めるため、フタが開けにくくなっています。
キッチンペーパーにサラダ油やオリーブ油を少し付けたものをフタの一部に薄く塗ると開けやすくなります。



ご使用の前に

禁止食材について

真空ブレンド・ブレンド

本製品では、フードプロセッサーやミルのような食材を細かく刻む機能や、パン生地をこねたり、アイスクリームを作るような機能はありません。

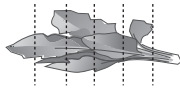
下記の禁止食材を使用しないでください。

(禁止食材を入れると、容器の破損や本体の故障の原因)

- 40℃以上の食材
- 粘り気の強いもの(とろろいもなど)
- もち
- 炭酸飲料系
- アルコール
- 大量の油
- 食品以外のもの
- 膨張するもの(吹きこぼれの原因)
- かたいもの
 - 乾燥食材(生大豆など)
 - 肉や魚の骨
 - かたい種(かき、桃など)
 - 氷砂糖
 - 2.5cm角以上の氷や冷凍食材
(食材を2.5cm角以下にして、
水分のある食材や液体を同量
以上入ると使えます)
 - コーヒー豆

下ごしらえについて

真空ブレンド・ブレンド

- かたい食材(にんじん・大根など)や水分の少ない食材(りんご・バナナ・アボカド・パプリカなど)は、2～3cm角に切る。
- 葉物野菜(小松菜など)は、3～4cm幅に切る。
- かんきつ類は外皮をむいて、4等分に切る。
- 氷は、2.5cm角程度の大きさのものを使う。
- かきや桃などの種を取り除く。

食材の入れかた

真空ブレンド・ブレンド

- やわらかいものから順に入れます。(下記①～④の順番に入れる)
かたいものを先に入れると、食材がカッター刃に引っかかり、運転が止まることがあります。

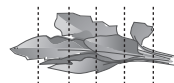
① 液体・調味料など



② 水分の多い食材
やわらかい食材
(オレンジ、トマトなど)



③ 葉物野菜
(小松菜など)



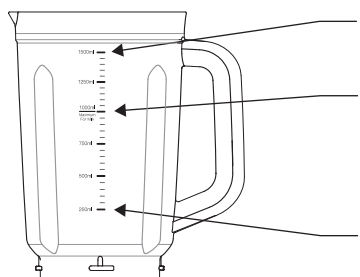
④ 水分の少ない食材
かたい食材
(りんごや氷など)



- 食材は、詰め込みすぎない。
- 水分の多い食材(オレンジやトマトなど)や液体を一緒に入れてください。
(水分の少ない食材やかたい食材のみの場合、空回りの原因)

分量について

真空ブレンド・ブレンド



ブレンダー容器

最大量(1500mL)を超えて入れないでください。

豆乳・牛乳・乳飲料・粉末を溶かした液体を入れる場合の
最大量は、1000mLです。

(ブレンダー容器内を減圧するときに泡立ちやすいため、
故障の原因になります)

最少量(500mL)より少ない量で運転しないでください。

ドリンクボトルの分量については (18ページ)

保存容器の分量については (22ページ)

ご注意

真空ブレンド・真空保存

- 真空状態にするときに空気と一緒に異物が本体に吸い込まれると、本体故障の原因となります。
下の内容を守ってお使いください。

異物を吸い込む原因	故障を防ぐために…
蒸気	● 食材は、40℃以下に冷ましてから入れてください。
粉末 (きなこ・ココアパウダー・ 粉糖・プロテインなど)	● ブレンド機能(低速ボタンや高速ボタン)で調理するか、完全に液体に溶かしてから容器に入れてください。
フタ部に付いた液体など	● 各フタ部と真空カバー部は、1回使うごとにお手入れをしてください。お手入れ後は、水気をよく拭き取ってからご使用ください。
食材から出てくる気泡や泡 気泡・泡の出やすいもの ● 牛乳・豆乳・乳製品など ● 葉物野菜やりんごで作ったスムージーなど	● 上記の 分量について を参照し、容器の最大量を確認して、分量を守ってご使用ください。 ドリンクボトルの分量については (18ページ) 保存容器の分量については (22ページ) ● ドリンクボトルに移す時は、泡立たないように、静かに注いでください。

容器内を減圧すると、材料に含まれている空気が泡になって上がってきたり、泡立つことがあります。減圧中に泡がフタに届きそうになったときは、すぐに停止ボタンを押して中止してください。調理途中の材料は、ブレンド機能を使って調理してください。

- 付属のメニュー集では、スムージーや保存容器を使用したメニュー例を紹介しています。

真空ブレンド

自動

ご使用の前に (12~13 ページ) の内容を確認してから、お使いください。

1 ブレンダー容器に食材を入れ、しっかりとフタをする

フタの両端を押して、
フタが傾いていないか、
すき間がないかを確認する



チェック!

- 各部品が正しく組み立てられていますか? (10~11 ページ)
- ブレンダー容器部 (カッター台とパッキンの取り付け、逆流防止キャップの取り付け)
- 真空カバー部 (真空フィルターとフィルターパッキンの取り付け)

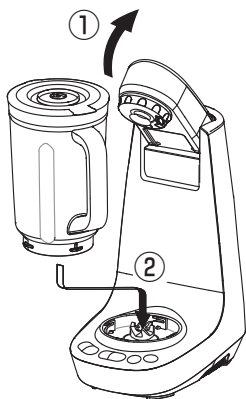
正しく取り付けられていないと、調理物の漏れや故障の原因になります。

- 最大量を超えてませんか?

フタの一部にサラダ油やオリーブ油を塗っておくと、フタが開けやすくなります。 (11 ページ)

2 ブレンダー容器を本体にセットする

真空ヘッドを上げて、
ブレンダー容器をのせる



「カチッ」と音がするまで
時計回りに回して取り付ける



真空ヘッドを下げて、
「カチッ」と音がするまで
しっかりと押さえる



正しくセットできていない場合は、運転することができません。

ご注意

- 真空ヘッドを上げたり下げたりするときは、本体とのすき間に手や指をはさまないように気を付けてください。
- ブレンダー容器を真空ヘッドにぶつけないように注意して、取り付けてください。

3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押す

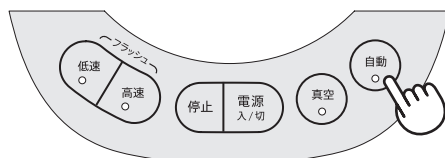
操作部のランプがすべて点灯します。



- 操作部のランプが点滅している場合は、ブレンダー容器が正しくセットされていません。やり直してください。(14ページの手順1～2参照)
- **電源ボタン**を押してから3分間、何も操作をおこなわなかった場合、待機状態になります。(操作部のランプが順番に点灯します)
操作を受け付ける状態に戻すには、電源ボタン以外の操作ボタンをどれか1つ押してください。

4 自動ボタンを押す

自動ボタンのランプのみ点滅します。



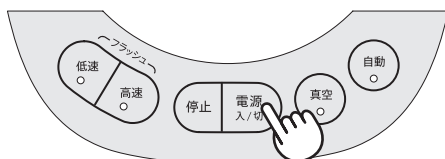
- 真空状態にしたあと、かくはんをおこない、自動で停止します。
(停止後は、受け付け状態になります)
- 途中で運転を停止する場合は、**停止ボタン**を押します。
- 停止後、さらにかくはんしたい場合は、ブレンダー機能を
使います。(17ページ)

ご注意

- ブレンダー容器内を減圧中に材料が泡立ち、泡がフタに届きそうになったときは、すぐに停止ボタンを押して、運転を中止してください。
- 続けて使う場合は、フタ部(逆流防止キャップ含む)と真空カバー部のお手入れをし、よく水気を拭き取ってから、お使いください。
食材や水分がフタに付着したまま自動ボタンや真空ボタンを使って調理をおこなうと故障の原因になります。

5 できあがったら、電源を切る

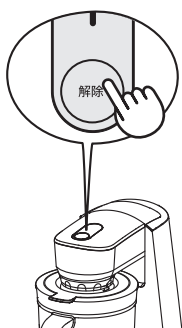
回転が止まっていることを確認してから
電源ボタンを押します。
ランプがすべて消灯します。



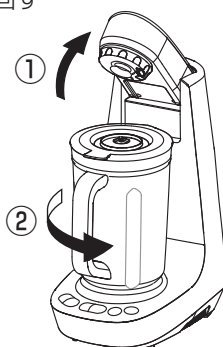
次ページへ続く

6 電源プラグを抜き、ブレンダー容器を本体から取りはずす

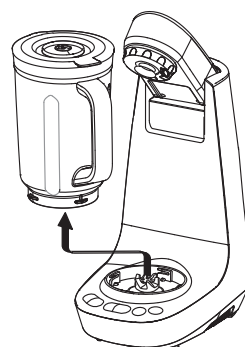
解除ボタンを押す



真空ヘッドを上げ、
ブレンダー容器を反時計回り
に回す



ブレンダー容器を
本体から取りはずす



ご注意

- 真空ヘッドを上げたり下げたりするときは、手や指をはさまないように気付けてください。
- ブレンダー容器を真空ヘッドにぶつけないように注意して、取りはずしてください。
- 調理直後は、カッター台底部の回転軸部分が高温になる場合がありますので、触れないようにしてください（やけどやけがの原因）

ブレンダー容器では保存できません。真空保存をするときは、**（18ページ）**を確認してください。

■ フタを開けるとき

平らな安定したところにブレンダー容器を置き、真空バルブの突起部を押して、ブレンダー容器内に空気を入れてから（「シューッ」と音がします）、フタを開けてください。



調理物が飛び散らないように、
ゆっくり、少しずつ持ち上げて
開けてください。

真空バルブは取りはずさないでください。（破損・紛失の原因）

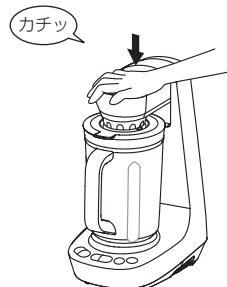
使用後は、すぐにお手入れをする **（24ページ）**

ブレンダー

低速・高速・フラッシュ

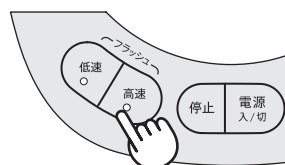
食材をかくはんするときに使います。(真空動作はおこないません)

1 ブレンダー容器を本体にセットし、電源を入れる (14ページ手順1～3参照)



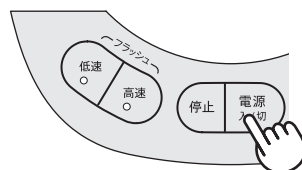
2 低速ボタンまたは、高速ボタンを押す

- 途中で運転を停止する場合は、**停止ボタン**を押します。
(停止ボタンを押さなかった場合、2分後に自動で止まります)
- 低速ボタンと高速ボタンを同時に押すと、押している間だけ回転する「フラッシュ」モードになります。



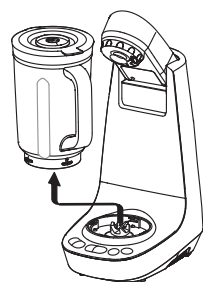
3 できあがったら、電源を切る

回転が止まっていることを確認してから
電源ボタンを押します。



4 電源プラグを抜き、ブレンダー容器を本体から取りはずす (16ページ手順6参照)

ブレンダー容器を真空ヘッドにぶつけないように注意して、
取りはずしてください。



使用後は、すぐにお手入れをする (24ページ)

ご注意

- ブレンダー機能で調理したあと、自動ボタンや真空ボタンを使って、真空にしないでください。

すでに調理物に空気が混ざっているため、酸化は抑えられません。また、製品が故障するおそれがあります。

ドリンクボトルで真空保存

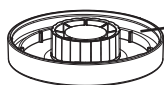
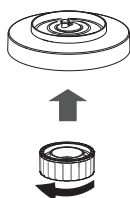
真空

真空ブレンドで作ったスムージーなどを、ドリンクボトルで保存します。
ドリンクボトル内を真空にするので、鮮度の劣化をおさえて保存することができます。
※真空保存には滅菌作用はありません。必ず冷蔵庫で保存してください。
また、材料の組み合わせによっては、保存中に分離します。

- 初めてお使いのときやしばらく使わなかったときは、ご使用前にドリンクボトル部をお手入れし、水気をよく拭き取ってから、お使いください。
食材や水分が付着していると、故障の原因になります。
- 一度開けたドリンクボトルの残りを再度真空保存する場合は、ボトルフタ部に調理物が付いていないことを確認し、付いていたときは、ボトルフタ部のお手入れをしてから真空保存してください。
- 真空ブレンドで作ったもの以外をドリンクボトルで真空保存しないでください。

1 ボトルフタを組み立てる

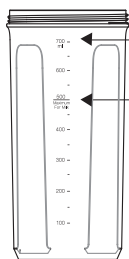
逆流防止キャップを
反時計回りに回して、取り付ける



パッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。

2 ドリンクボトルにスムージーなどを入れ、ボトルフタを閉める

泡立たないように、ゆっくりと注ぎ、ボトルフタは時計回りに回して、しっかりと閉める（止まるまで回します）



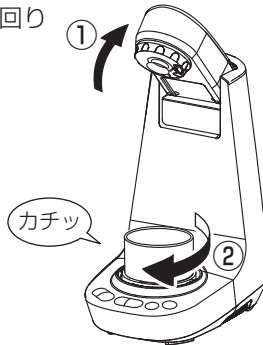
最大量(700mL)を超えて入れないでください。

豆乳・牛乳・乳飲料・粉末を溶かした液体を使った場合や、食材に葉物野菜が含まれている場合の最大量は500mLです。
(ドリンクボトル内を減圧するときに泡立ちやすいため、故障の原因になります)



3 ボトルスタンドを本体にセットする

真空ヘッドを上げて、
ボトルスタンドをのせ、
「カチッ」と音がするまで
ボトルスタンドを時計回り
に回して取り付ける



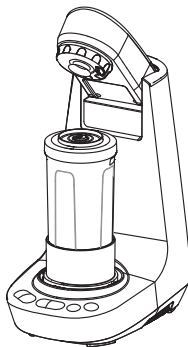
チェック!

- 各部品が正しく組み立てられていますか？
 - ボトルフタ部（パッキンと逆流防止キャップの取り付け）
 - 真空カバー部（真空フィルターとフィルターパッキンの取り付け）
- 取り付けが正しくおこなわれていないと、調理物の漏れや故障の原因になります。

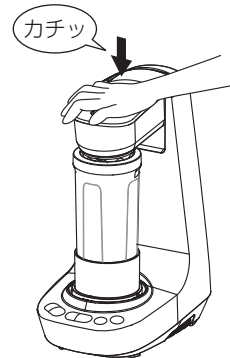
4 ドリンクボトルを本体にセットする

ドリンクボトルを振ったり傾けたりせずに、セットしてください。

ドリンクボトルを
ボトルスタンドに入れる



真空ヘッドを下げて、
「カチッ」と音がするまで
しっかりと押さえる



ご注意

- 真空ヘッドを上げたり下げたりするときは、手や指をはさまないように気を付けてください。
- ドリンクボトルを真空ヘッドにぶつけないように注意して、取り付けてください。

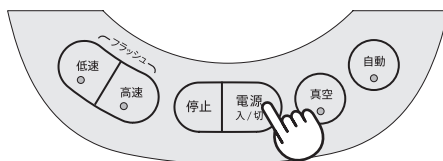
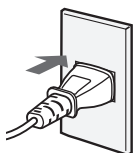
次ページへ続く

ドリンクボトルで真空保存っづき

真空

5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押す

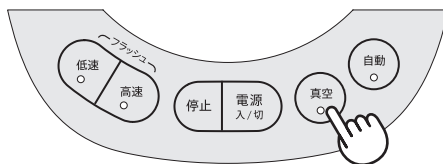
操作部のランプがすべて点灯します。



- 操作部のランプが点滅している場合は、ドリンクボトルが正しくセットされていません。やり直してください。(18、19ページ手順 1~4参照)
- **電源ボタン**を押してから3分間、何も操作をおこなわなかった場合、待機状態になります。(操作部のランプが順番に点灯します)
操作を受け付ける状態に戻すには、電源ボタン以外の操作ボタンをどれか1つ押します。

6 真空ボタンを押す

真空ボタンのランプのみ点滅します。



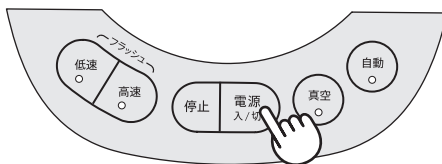
- 運転が終わると自動で停止します。
(停止後は、受け付け状態になります)
真空状態になっていない場合でも、1分で停止します。(故障防止のため)
- 途中で運転を停止する場合は、**停止ボタン**を押します。

ご注意

- ドリンクボトル内を減圧中に材料が泡立ち、泡がフタに届きそうになったときは、すぐに停止ボタンを押して、運転を中止してください。

7 動作が終了したら、電源を切る

電源ボタンを押します。
すべてのランプが消灯します。

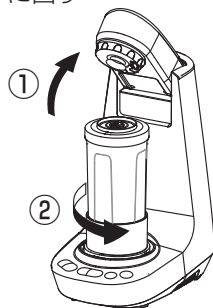


8 電源プラグを抜き、ドリンクボトルを本体から取りはずす

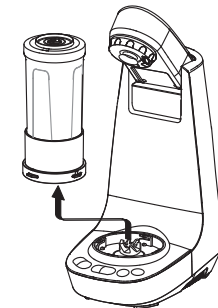
解除ボタンを押す



真空ヘッドを上げ、
ボトルスタンドを反時計回りに回す



ボトルスタンドごと
本体から取りはずす



ご注意

- 真空ヘッドを上げたり下げたりするときは、手や指をはさまないように気をつけてください。
- ドリンクボトルを真空ヘッドにぶつけないように注意して、取りはずしてください。

真空保存に滅菌作用はありませんので、必ず冷蔵庫に入れて保存してください。
ボトルを斜めにしたり、横に倒して置かないでください。

■ ボトルフタを開けるときの

平らな安定したところにドリンクボトルを置き、真空バルブの突起部を押して、
ドリンクボトル内に空気を入れてから（「シューッ」と音がします）、
ボトルフタを反時計回りに回して開けてください。



真空バルブは取りはずさないでください。
(破損・紛失の原因)



使用後は、すぐにお手入れをする (24 ページ)

ボトルフタを取りはずして、付属のドリンクフタに
付けかえると、飲み口フタを開けて直接飲むことができます。



保存容器で真空保存

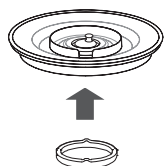
真空

食材を入れて容器内を真空にするので、食材の鮮度の劣化をおさえて保存することができます。
※真空保存には滅菌作用はありません。必ず冷蔵庫で保存してください。

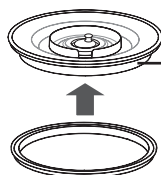
- 初めてお使いのときやしばらく使わなかったときは、ご使用前に保存容器部をお手入れして、水気をよく拭き取ってからお使いください。(食材や水分が付着していると、故障の原因)
- 40℃以上の食材は入れないでください。
- 保存容器を冷凍庫に入れたり、電子レンジやオーブンに入れて加熱をしたりしないでください。
- 付属の保存容器以外は使わないでください。

1 保存容器のフタを組み立てる

フタの裏側に保存容器キャップを取り付ける



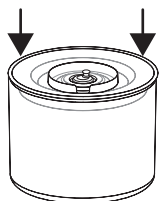
保存容器パッキンを取り付ける



パッキンは、段差がある面を上にして、フタの溝にはめる

2 保存容器に食材を入れ、しっかりとフタをする

フタを押して、フタが傾いていないか、すき間がないかを確認する



- 空気と一緒に異物が本体に吸い込まれると、本体の故障の原因になります。
(13 ページ) のご注意の内容を確認してください。
- 最大量を超えて入れないでください。
特に液体を入れる場合は、少なめにします。

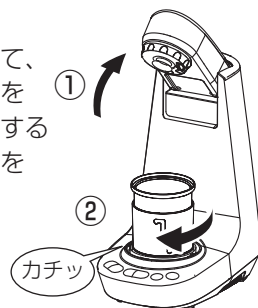
容器サイズ	最大量	液体を含む場合の最大量
S	500mL	300mL
M	800mL	600mL
L	1400mL	1200mL

3 保存容器スタンドを本体にセットする

使う容器のサイズ(S・M・L)に合わせて、保存容器スタンドの高さを調節します。
保存容器上部を左右・上下にスライドさせて、◎部にサイズに合わせます。

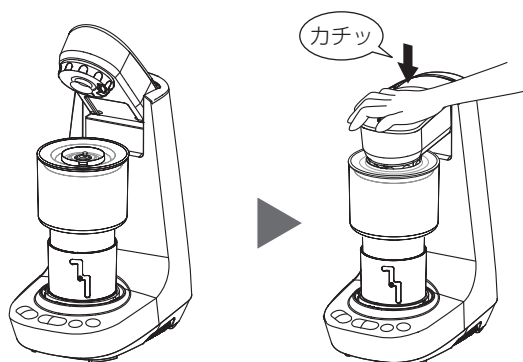


真空ヘッドを上げて、保存容器スタンドを「カチッ」と音がするまで容器スタンドを時計回りに回して取り付ける



4 保存容器を本体にセットする

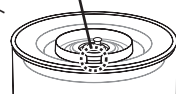
保存容器を保存容器スタンドにのせて、真空ヘッドを下げ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押さえる



チェック!

- 各部品が正しく組み立てられていますか？
 - 保存容器フタ部（パッキンと保存容器キャップの取り付け）
 - 真空カバー部（真空フィルターとフィルターパッキンの取り付け）
- 正しく取り付けしていないと、調理物の漏れや故障の原因になります。

保存容器のSをセットするときは、保存容器フタの切り欠き部分が、右側にならないようにセットしてください。



5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押す

6 真空ボタンを押す

減圧中に泡がフタに届きそうになったときは、すぐに停止ボタンを押して、中止してください。

ランプの状態や運転動作、ご注意くださいなどは、**20 ページ**の手順5～7を参照してください。

7 動作が終了したら、電源を切る

8 電源プラグを抜き、保存容器を本体から取りはずす

必ず、解除ボタンを押してから、真空ヘッドを上げて、保存容器を取り出してください。

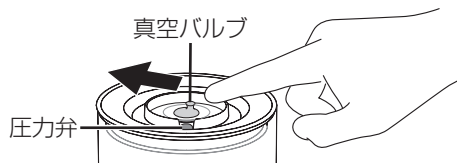


保存容器内が真空状態になると、圧力弁は凹みます。（故障ではありません）

■保存容器フタを開けるとき

平らな安定したところに保存容器を置き、真空バルブの突起部を押して、保存容器内に空気を入れてから（「シュー」と音がし、圧力弁の凹みが元に戻ります）、フタを開けてください。

真空バルブと圧力弁は取りはずさないでください。（破損・紛失の原因）

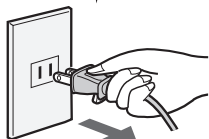


使用後は、すぐにお手入れをする **24 ページ**

お手入れ

汚れたら、すぐに！がお手入れの上手なポイント

電源プラグを抜く



次のものは使わないでください

(塗装のはがれ・傷付き・変色・内部に液が浸透し故障の原因)



シンナー
ベンジン
アルコール



磨き粉
塩素系漂白剤



住宅用・家具用・
換気扇用合成洗剤
酸性・アルカリ性洗剤



スプレー式洗剤
金属タワシ
硬めのスポンジ
メラミンスポンジ

- 清潔な状態を保つため、ご使用ごとにお手入れをおこなってください。
- めるま湯でお手入れするときは、40℃以下でお使いください。
- お手入れをする前に、予備洗浄することをおすすめします。
ブレンダー容器内に残った食材を浮かすので、お手入れがしやすくなります。

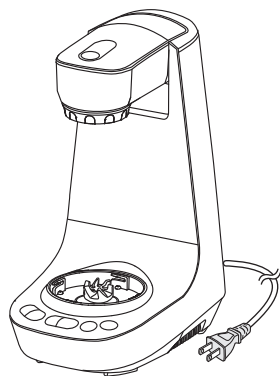
予備洗浄

- ①ブレンダー容器内に水を750mL程度入れ、フタをして、本体にセットする。
- ②電源プラグをコンセントに差し、**電源ボタン**を押す。
- ③**高速ボタン**を押し、様子を見ながら運転(10～15秒程度)し、**停止ボタン**を押す。
- ④回転が完全に止まっていることを確認して、**電源ボタン**を押し、電源を切る。
- ⑤電源プラグをコンセントから抜き、ブレンダー容器を本体から取りはずす。

■ 食器洗い乾燥機は、ドリンクボトルと保存容器のみ使用できます。(26,27 ページ)

■ 食材の色素が部品に付着して変色することがあります。
スポンジで洗っても完全には取れませんが、ご使用上問題はありません。
ご使用後は、できるだけ早めにお手入れすると、取れやすくなります。

本体



固く絞ったふきんで水拭きします。

水洗いはしないでください。

汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用合成洗剤(中性)を使い、水拭きします。

ご注意

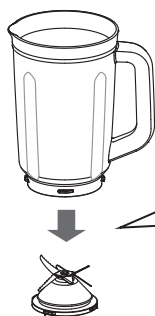
- 操作部や回転軸部にスプレー式の洗剤を直接かけたり、水分を多く含んだ布で拭かない。(液が浸透し、故障の原因)
- 水滴や食材が付着した場合は、すぐに拭き取り、付着したまま放置しないでください。(変色や劣化のおそれあり)

各部品を取りはずして、台所用合成洗剤(中性)と、やわらかいスポンジを使って洗い、よくすすぎます。

ブレンダー容器部

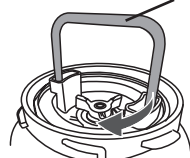
ブレンダー容器、カッター台、カッター台パッキンに分けて洗います。

①ブレンダー容器からカッター台をはずす



付属のカッター台取りはずし金具を使い、時計回りに回してはずします。ブレンダー容器を下に向ける場合は、フタをした状態でおこなってください。

カッター台取りはずし金具



②カッター台からカッター台パッキンをはずす



パッキンを傾け、カッターを少しずつくぐらせてはずします。



③各部品を洗い、十分にすすぐ

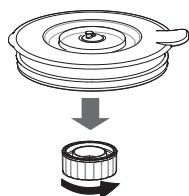
ご注意

- カッター台は、つけ置きしないでください。(故障の原因)
- カッター台の底面に、水や洗剤などがつかないようにしてください。水が付着してしまった場合は、すぐに拭き取ってください。
- パッキンを取りはずす時に、ナイフやフォークなどの鋭利な器具を使用しないでください。(パッキン損傷の原因)
- パッキンは、カッターで傷付けないようにしてください。(パッキン損傷による液漏れの原因)

フタ部

フタ・逆流防止キャップに分けて洗います。

①フタから逆流防止キャップを時計回りに回してはずす



逆流防止キャップがはずしにくい場合は、ふきんやシリコンマットなどで、逆流防止キャップをつかんで回すと、はずれやすくなります。

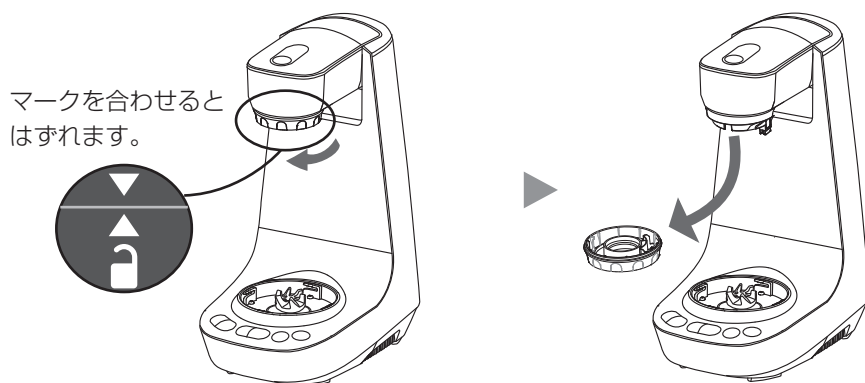
②各部品を洗い、十分にすすぐ

お手入れ っづき

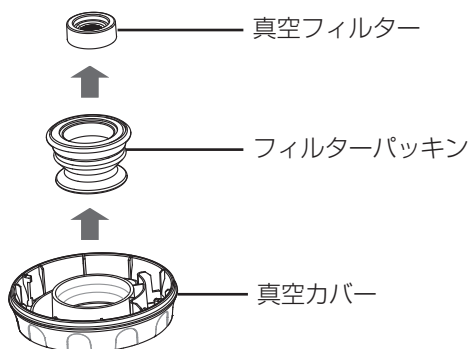
真空カバー部

真空フィルター、フィルターパッキン、真空カバーに分けて、洗います。

①真空カバー部を時計回りに回して、マークを合わせる



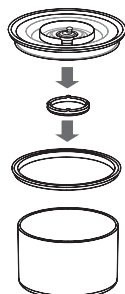
②真空カバーから、フィルターパッキン、真空フィルターを取りはずす



③各部品を洗い、十分にすすぐ

保存容器部

保存容器、保存容器フタ、保存容器キャップ、保存容器パッキンに分けて、洗います。



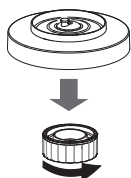
保存容器フタから、保存容器キャップ、保存容器パッキンをはずして、各部品を洗い、十分にすすぐ

保存容器のみ、食器洗い乾燥機が使えます。(保存容器フタは使えません)
保存容器の耐熱温度は、99℃です。
食器洗い乾燥機・食器乾燥器の取扱説明書をよくお読みになってからお使いください。

ドリンクボトル部

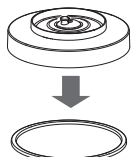
ボトルフタ、逆流防止キャップ、ボトルフタパッキン、ドリンクボトルに分けて洗います。

①ボトルフタ部から、逆流防止キャップを時計回りに回してはずす



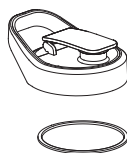
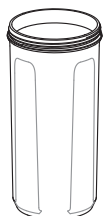
逆流防止キャップがはずしにくい場合は、ふきんやシリコンマットなどで、逆流防止キャップをつかんで回すとはずれやすくなります。

②ボトルフタパッキンをはずす



竹串などを使ってはずします。
ナイフやフォークなどの鋭利な器具を利用しないでください。
(パッキン損傷の原因)

③各部品を洗い、十分にすすぐ



ドリンクフタは、ドリンクフタパッキンをはずして洗います。
取り付けるときは、幅が細い方をドリンクフタの溝に差し込んで押し込みます。

ドリンクボトルのみ、食器洗い乾燥機が使えます。(ボトルフタは使えません)

ドリンクボトルの耐熱温度は、99℃です。

食器洗い乾燥機・食器乾燥器の取扱説明書をよくお読みになってからお使いください。

お手入れのあとは・・・

水分をよく拭き取り、十分に乾燥させてから、各部品を組み立てます。

- パッキンは、乾いてから取り付けてください。
- 取りはずした部品は、放置せずに元の位置に正しく取り付けてください。
(紛失のおそれ、故障や調理物の漏れの原因)

ブレンダー容器部を本体にセットして、直接日光の当たらない通気性の良い場所で保管する。
水分が残っていると、さびやカビが発生する原因となります。

故障かな？

こんな場合	確認してください
ボタンを押しても動かない (操作部のランプがすべて点滅している)	● 各部品が正しく取り付けられていますか？ →ブレンダー容器とフタの間にすき間できないように、しっかりと閉めてください。 ● ブレンダー容器(またはボトルスタンドや保存容器スタンド)は正しく本体にセットされていますか？ ● 真空ヘッドが確実に下がっていますか？
自動ボタンを押しても動かない	● 真空ボタンを押したあとに、自動ボタンを押していませんか？ すでに真空状態になっているため、動作しません。 →真空バルブの突起部を押して、容器内に空気を入れてから、再度操作してください。
運転途中で停止した	● 禁止食材を入れていませんか？ (12ページ) →禁止食材を入れている場合は、取り除いてください。 ● 最大量を超えて、食材を入れていませんか？ →最大量を超えていた場合は、減らしてください。 ● 食材が大きかったり、水分が少なかったりなどで、混ぜにくい状態になっていませんか？ →ご使用前に (12ページ) を確認してください。 ● 定格時間を超えて運転していませんか？ →定格時間を超えて運転をすると、モーターの保護装置がはたらきます。モーターの保護装置について (29ページ) 運転途中で停止した場合は、電源プラグを抜き、30分以上休止してからご使用ください。
フタが開かない	● 真空バルブの突起部を押して、容器内に空気を入れましたか？ 真空性を高めるため、フタが開けにくくなっています。 真空バルブの突起部を押して、容器内に空気を入れてから、フタを開けてください。また、お使いの前に、フタの一部にサラダ油やオリーブ油を少し塗ってからフタを閉めると、開けやすくなります。(11ページ)
真空にならない	● 各部品が正しく取り付けられていますか？ ● 各部品に水気が付いていませんか？
電源が入らない	● 電源プラグが抜けていませんか？
調理物が漏れる	● ブレンダー容器にカッター台を確実に取り付けられていますか？ ● カッター台パッキンが傷付いていませんか？ ● 最大量を超えて、食材を入れていませんか？

モーターの保護装置について

本製品には、モーターの保護装置が付いています。モーターが過熱すると、製品の故障を防ぐために、運転時間に関係なく、自動的に運転が停止します。

停止した場合は、電源プラグを抜き、30分以上休止してください。

故障かな？／モーターの保護装置について／仕様

仕様

電 源		交流100V 50-60Hz共用
定格消費電力		450W
定格時間		2分 ^{※1}
定格容量		ブレンダー容器：1,500mL ドリンクボトル：700mL 保存容器：(S) 500mL、(M)800mL、(L)1,400mL
1分間当たりの回転数		約15,000回転(無負荷時)
外形寸法	幅	168mm
	奥行 ^{※2}	289mm
	高さ	351mm
質 量		約3.4kg
電源コード長さ		約1.2m

※1 2分動作、2分休止の繰り返し 動作合計10分までです。
10分動作後、30分休止が必要です。

※2 ブレンダー容器を取っ手が正面になるようにセットした場合の、
背面からブレンダー容器の取っ手までの寸法です。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

持込修理

- 1 「故障かな？」(28 ページ) を調べてください。
- 2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてください。
- 3 お買いあげの販売店に、ご連絡ください。

この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証期間中

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

保証書(裏表紙にあります)

- 保証期間…お買いあげの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※一般家庭用以外(例えば、業務用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障・損傷など有料です。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は真空ブレンダーの補修用性能部品の製品の製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検



長年ご使用の場合は商品の点検を！
こんな症状はありませんか？

- 電源プラグやコードが異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- 触れるとピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。



いつでも便利なWebサービス【シャープオンラインサポート】

ご質問やお困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト！

シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



インターネットから修理のお申し込みや進捗確認も24時間サポート

シャープ 修理相談

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/repair.html>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



使用方法のご相談など【お客様相談室】おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～18:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 078 - 178

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 449

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
050-3852-5405	06 - 6792 - 5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	



修理のご相談など【修理相談センター】おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～20:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 02 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 447

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
050-3852-5520	06 - 6792 - 3221
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号	

「宅配業者引き取りサービス」のご案内

※サービスエリア：日本国内地域。ただし、沖縄県を除く。

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 02 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 447

ご転居やご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理が依頼できない場合に、お電話でご依頼いただきますと当社指定の宅配業者がお客様のご都合の良い日時にご自宅を訪問して商品をお預かりし、弊社で修理完了後にご自宅までお届けするサービスです。

■ご利用料金：「宅配業者引き取りサービス」のご利用は保証期間内・保証期間外にかかわらず有料となります。

[往復の運送費＋梱包資材費＋代引き手数料]がかかります。

(保証期間内の修理料金は、保証書記載の「無料保証規定」に準じます。また、保証期間外は有料です)

■お引き取りの時間は次の時間帯よりお選びいただけます。

午前中 14:00～16:00 16:00～18:00 18:00～21:00

※交通事情などの理由により、ご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

■QRコードについて

スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。(読み取れない場合は近傍に表記のアドレスを直接入力してください)
誘導されるサイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担になります。QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報の開示・訂正、利用訂正等の請求その他お問い合わせは、シャープ株式会社個人情報ご相談窓口にご連絡ください。電話番号：[06-6792-8004 (受付時間：平日、9:00～12:00、13:00～17:00) ただし、祝日など弊社休業日を除く] 個人情報の取扱いの詳細については、<http://www.sharp.co.jp/privacy/index-j.html> をご参照ください。

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2K17.10)

お問い合わせ先

お問い合わせの前にもう一度「故障かな？」(28ページ)をご確認ください。

- お客様ご相談窓口からのお問い合わせ (31ページ)

Webもご活用ください。

- シャープ お問い合わせ
<http://www.sharp.co.jp/support>

検索



シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地